

2019 年度 事業報告書

特定非営利活動法人 森づくりフォーラム

事業の成果

- 事業成果の可視化をはかるため、事業 3 本柱のロジックモデル案を作成した。
- グリーンボランティア保険の加入促進を行い（Facebook 宣伝 2、パンフレット送付 447）、新規登録団体数、利用団体数ともに増加した。
- 「人工林内の生物多様性を高める森づくりの手法」をテーマとした事業を立案し、次年度より地球環境基金の助成を受けて実施する。
- 森林環境税に関するヒアリングを東京都 37 自治体に行い、3 つの自治体（小金井市、羽村市、東京都）へ事業提案を行った。
- 森と人の関わりのこれからのことについて情報発信を行う「森林社会学研究会連続講座」を 4 回実施した。
- 2018 年度分の「初心者のための森づくり体験会」が終了し、2019 年度のプログラムを 5 回実施した。
- WEB、SNS での発信強化、記事発信数を増やし、月間 WEB ユーザー数が月平均 3000 を超えた。
- 法人化 20 周年に合わせて 15 団体と協力して寄付キャンペーンを実施、78 万円の寄付をいただいた。
- LVMH 社主催のドネーションイベントにて発表を行い、174 万円の寄付をいただいた。寄付金の一部を充当して、10 月下旬に森づくり体験プログラム実施した。
- 会員・寄付者・関係者データベースの移行を進めた。また、新規会員が増加し、個人 5 名・2 団体から新規の単発寄付をいただいた。

事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 10,592 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
森づくりに関する情報の収集・提供および調査研究	【森林社会学研究会事業】 2015 年度よりスタートした連続講座シリーズを、計 4 回実施した。	2019 年 4 月～2020 年 3 月	東京	2 名	講座、企画委員会参加者	194 名	712
森づくりに関する情報の収集・提供および調査研究	【指標づくり】 「森とともに暮らす社会」を測る指標項目案の作成に向けて、シナリオの作成と調査手法や関連情報の収集を行い、指標案を検討した。	2019 年 4 月～2020 年 3 月	東京	1 名	一般市民	-	0
森づくりに関する情報の収集・提供および調査研究	【森林づくり活動の実態調査の分析】 2018 年度に林野庁補助事業として実施した「森林づくり活動の実態調査」について、問合せがあった県に個別に詳細の調査結果を情報提供した。	2019 年 4 月～2019 年 9 月	東京	1 名	情報収受者	-	0
森づくり活動を行う団体間の交流、協力関係を促進し、ネットワークを構築する事業	【森林と市民を結ぶ全国の集い】 第 23 回は静岡県掛川市で 2019 年 6 月 15 日～17 日に開催され、実行員として参加した。第 24 回は事務局として東京開催（2020 年 3	2019 年 4 月～2020 年 3 月	静岡、東京	4 名	実行委員会、イベント参加者	534 名	1,223

	月14日～15日)の準備を進めたが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。						
森づくり活動を行う団体間の交流、協力関係を促進し、ネットワークを構築する事業、	【東京の森づくり団体ネットワークづくり】森づくり活動関係者の知識や技術の向上、またネットワークの強化を目的として、2020年1月10日に「東京の「木の流通」を知る～多摩木材センター・青梅市山崎山林見学ツアー～」を実施した。	2019年4月～2020年3月	東京	4名	イベント参加者	32名	115
森林の保全、自然環境のよさを普及啓発 人材養成のための研修、講習会	【初心者へ向けた森づくり体験会と指導者層の育成事業】2019年4月～5月にかけて「初心者のための森づくり体験会2019」の後半プログラムを実施した。2019年11月からは「初心者のための森づくり体験会2019-2020」をスタートし、2020年2月までに計5回を実施したが、3月のプログラムは中止となった。	2019年4月～2020年3月	東京	3名	イベント参加者	174名	890
森林ボランティア保険事業 森づくり活動の育成および円滑にできる環境の基盤整備	【グリーンボランティア保険業務】グリーンボランティア保険の窓口業務を継続して行った。WEB・SNS・パンフ送付などの施策を図った結果、利用団体数は増加した。また、保険料支払について一定期間をまとめて行えるような制度を、試験団体数5団体で試行した。	2019年4月～2020年3月	全国	4名	保険利用者	59,056名	3,722
森づくり活動の育成および円滑にできる環境の基盤整備	【森林ボランティア安全対策の提言】森づくりフォーラム機関誌にて連載した安全記事を活用し、WEB・SNSにて情報発信を計7回行った。また、安全管理研修のための参考資料の提供と、安全対策への講師派遣を行った。	2019年4月～2020年3月	全国	3名	一般市民	6,010名	0
森林の保全、自然環境のよさを普及啓発 人材養成のための研修、講習会	【フォレスト21「さがみの森」】月2回の森林ボランティア体験活動を実施。8月からは多面的機能発揮対策交付金を受けて追加で月1回の活動を開始したが、台風の影響で11月に終了した。また、生物調査を進め、3月にはPRガイドブックを発行した。	2019年4月～2020年3月	神奈川	2名	活動、イベント参加者	398名	1,756
その他会社の目的を達成するために必要な事業	【多摩の森・大自然塾】月1回の森林ボランティア体験活動、また学生を対象とした森林体験講座を実施した。	2019年4月～2020年3月	東京	3名	活動参加者	269名	46
その他会社の目的を達成するために必要な事業	【企業の森】東京都の「花粉の少ない森づくり運動」参画企業向けに森林整備研修を2回予定していたが、いずれも雨天中止となった。	2019年4月～2020年3月	東京	2名	活動参加者	0	74

その他会社の目的を達成するための事業	【木下沢渓谷冒険の森】 1月の森林整備・管理作業や、一般に向けたプチ体験イベントを実施した。	2019年4月～2020年3月	東京	3名	活動参加者	320名	870
その他会社の目的を達成するための事業	【森サロン】 森林・林業とは直接関わりのない、都心部で働くライト層向けのお食事を交えた「森のサロン」を私の森.jpと共催でスタートした。第1回目は2019年11月20日に「和ハーブとカレーの夕べ」を実施した。	2019年4月～2020年3月	東京	2名	イベント参加者	29名	67
森林の保全および自然環境を守るための普及啓発	【広報事業】 機関誌として活動レポートを年4回、特集号を1回発行した。また月2回のメールマガジンの発行やWEBサイト・Facebook・Instagram等により情報発信を行った。	2019年4月～2020年3月	全国	5名	一般市民、森づくりフォーラム会員	10,981名	521
森づくり活動を行う団体間の交流、協力関係を促進し、ネットワークを構築する事業 森づくり活動資金の調達提供	【寄付キャンペーン】 法人設立20周年に合わせて、全国の15の森づくり団体と協力し、寄付キャンペーンを実施し、約78万円の寄付を集めた。	2019年4月～2020年3月	全国	2名	協働した森づくり団体	15団体	596

I. 事業に関する事項

1. 調査・研究に関する事業

(1) 森林社会学研究会事業

[助成事業]

実施期間	2019年4月～2020年3月
実施場所	本会事務所
担当者	原田、宮本
受益対象者の範囲及び人数	194名（下記企画委員会、講座の参加者総数）
会議等の実施日時・人数	・4/6 第14回連続講座 場所：グラム・デザイン 人数：30名 ・6/2 第15回連続講座 場所：東京大学 人数：75名 ・8/7 企画委員会 場所：本会事務所 人数：4名 ・11/10 第16回連続講座 場所：文京シビックセンター 32名 ・2/2 第17回連続講座 場所：文京区会議室 人数：53名
報告	第14回は「鹿と猪はこう食す！知りたい森と獣害のこと」をテーマに食体験を交えて実施した。第15回は総会シンポジウムとして「森林環境税と市民参加の森づくり」をテーマに実施した。8月に企画委員会を行い、今後の連続講座企画と森林社会学研究会の運営について協議した。11月に第16回「所有者不明の森は今」をテーマに実施し、2月に第17回「Iターン移住者が林業経営者になるまで」を開催し、どちらも定員を超える参加者が集った。

(2) 指標づくり

[自主事業]

実施期間	2019年4月～2020年3月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	宮本
報告	「森とともに暮らす社会」を測る指標項目案の作成に向けて、シナリオの作成と調査手法や関連情報の収集を行い、指標案を検討した。

(3) 森林づくり活動の実態調査の分析

[自主事業]

実施期間	2019年4月～2019年9月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	宮本
報告	2018年度に林野庁補助事業として実施した「森林づくり活動の実態調査」の詳細な分析を事業として実施するために、助成制度への申請を行ったが、不採択となった。石川県・福井県より問い合わせがあり、県内の調査結果の詳細について情報提供を行った。

2. ネットワークに関する事業

(1) 森林と市民を結ぶ全国の集い

[協力事業・国土緑化推進機構 助成事業]

実施期間	2019年4月～2020年3月
------	-----------------

実施場所	掛川市役所、掛川市立倉真小学校、文京区会議室ほか
担当者	石井、鹿住、中沢、宮本
受益対象者の範囲及び人数	534名（下記開催の参加者・スタッフと実行委員会の参加者総数）
会議等の実施日時・人数	<ul style="list-style-type: none"> ・6/15～16 森林と市民を結ぶ全国の集い in 静岡・掛川 場所：倉真小学校他 人数：のべ416名 ・「森林と市民を結ぶ全国の集い in 静岡・掛川」実行委員会 5/22 第5回 場所：掛川市役所 人数：18名 7/22 第6回 場所：伝（掛川市） 人数：11名 ・「森林と市民を結ぶ全国の集い in 東京」実行委員会 8/9 打合せ 場所：国土緑化推進機構 人数：4名 9/6 準備会 場所：国土緑化推進機構 人数：6名 9/19 準備会 場所：国土緑化推進機構 人数：6名 10/15 第1回 場所：文京区民センター 人数：14名 11/25 第2回 場所：文京シビックセンター 人数：13名 12/12 第3回 場所：文京区民センター 人数：12名 1/16 第4回 場所：文京区民センター 人数：10名 2/17 第5回 場所：東京農業大学 人数：14名 3/17 第6回 場所：文京区男女平等センター 人数：10名
報告	第23回は静岡県掛川市で6月15日（土）～16日（日）に開催。16日（日）～17日（月）とオプションツアーも実施された。1日目は基調講演、パネルディスカッション、交流会、2日目はエクスカージョン、全体会という構成。今回は、地元スタッフの参加が多く、倉真地域全体で歓迎していただいた印象が強い。今後の全国の集いの地域開催のモデルとなる回となった。10月から「森林と市民を結ぶ全国の集い 2020in 東京」実行委員会を立ち上げ、2020年3月14日（土）～15日（日）東京農業大学での開催に向けた準備を進めたが、実施中止となった。

（2）東京の森づくり団体ネットワークづくり

[助成事業]

実施期間	2019年4月～2020年3月
実施場所	本会事務所
担当者	石井、石山、松井、宮本
受益対象者の範囲及び人数	32名
報告	森づくり活動関係者の知識や技術の向上、またネットワークの強化を目的とした学習会・情報交換会として、2020年1月10日に「東京の「木の流通」を知る ～多摩木材センター・青梅市山崎山林見学ツアー～」を実施した。多摩木材センターでのセリの見学と、森づくりフォーラム理事の山崎靖代さんの山林を見学するツアーで、定員を超える申し込みがあり、林業・木材に関わる様な方々の参加があった。

3. 人材育成の事業

(1) 初心者へ向けた森づくり体験会と指導者層の育成事業

[助成事業]

実施期間	2019年4月～2020年3月
実施場所	東京都内
担当者	石井、石山、松井
受益対象者の範囲及び人数	174名（下記開催の参加者・スタッフの総数）
会議等の実施日時・人数	<p><初心者のための森づくり体験会 2019></p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/14 体験会 5回目 団体：木下沢溪谷冒険の森の会 人数：42名 ・5/12 体験会 6回目 団体：お日の森くらぶ 人数：18名 ・5/25 体験会 7回目 団体：森の安全を考える会 人数：12名 ・6/24 報告会 場所：文京シビックセンター 人数：8名 <p><初心者のための森づくり体験会 2019-2020></p> <ul style="list-style-type: none"> ・11/24 体験会 1回目 団体：御岳倶楽部 人数：13名 ・12/8 体験会 2回目 団体：木下沢溪谷冒険の森の会 人数：26名 ・12/15 体験会 3回目 団体：遊学の道 Project 人数：10名 ・1/19 体験会 4回目 東豊田緑湧会 人数：20名 ・2/22 体験会 5回目 パウロの森くらぶ 人数：25名
報告	2019年4月～5月にかけて「初心者のための森づくり体験会 2019」の後半プログラムを実施し、前半と合わせて計7回実施した。6月には報告会と意見交換を行った。2019年11月からは「初心者のための森づくり体験会 2019-2020」をスタートし、2020年2月までに計5回を実施したが、3月～5月に予定していた4回のプログラムは中止となった。

4. 森林ボランティア活動支援の事業

(1) グリーンボランティア保険業務

[自主事業]

実施期間	2019年4月～2020年3月
実施場所	本会事務所
担当者	石井、久保田、樋口、宮本
報告	<p>WEB・SNS・パンフ送付などの施策を図った結果、利用団体数は増加した。事故件数が大幅に増加しており、特徴としては、①近年からの新規登録団体の事故が目立つ、②森林整備作業の現場以外の事故が1/4を占める、③森林整備作業の現場での事故のうち、マダニ・ハチ等による虫刺され、かぶれ等が43%を占める 等である。また保険料支払について一定期間をまとめて行えるような制度を、試験団体数5団体で試行した。</p> <p>(※以上の報告は上期における内容となる。)</p>

【グリーンボランティア保険 登録団体 状況】（2019 年度実績）

2018 年度	2019 年度新規登録	未更新	更新数	前年度比	利用団体数 計
5 8 3	1 2 1	8 0	5 0 3	+ 4 1	6 2 4

- ・ 2018 年度新規登録：101 団体
- ・ 2019 年度登録料未確認団体：22 団体

<件数>（2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日までの実績）

	第一種	第二種	賠償責任部分	合計	前年度比(%)
保険利用件数	3,832	3,917	7,749	7,749	100
保険利用人数	43,954	15,102	59,056	59,056	102
保険料	2,958,292	7,683,799	6,375,660	17,017,751	99
事故件数	29	25	7	61	210
保険金支払額				1,531,063	76

（2）森林ボランティア安全対策の提言

[自主事業]

実施期間	2019 年 4 月～2020 年 3 月
実施場所	本会事務所
担当者	久保田、宮本、山田
報告	森づくり活動中の事故減少を目的として、安全技術向上に向けた普及啓発事業の計画を立て、助成申請を行ったが不採択となった。森づくりフォーラム機関誌にて連載した安全記事を活用し、WEB・SNS にて情報発信を計 7 回行った。また横浜市主催の安全管理研修（9 月実施）のための参考資料の提供と、安全対策への講師派遣（子育て支援ステーションニッセ（千葉県））を行った。

5. フィールド事業

（1）フォレスト 21「さがみの森」

[助成事業・補助事業]

実施期間	2019 年 4 月～2020 年 3 月
実施場所	仙洞寺山国有林「さがみの森」19.28ha（神奈川県相模原市緑区青山）
担当者	石井、宮本
報告	月 2 回の定例活動および月 1 回の連絡協議会を実施した。加えて台風被害の復旧整備等に関わる追加活動を、多面的機能発揮対策交付金を受けて 8 月から月 1 回の活動をスタートしたが、10 月の台風 19 号の被害により活動を続けることが困難となり、11 月に終了した。また、これまでの成果と認知拡大への発信のためにガイドブック制作を行った。相模原市立博物館や相模原市環境情報センターを始め、様々な方にご協力をいただき、今後に繋がる活動にもなった。

(2) 多摩の森・大自然塾 定例活動

[自主事業]

実施期間	2019年4月～2020年3月
実施場所	東京都奥多摩町鳩ノ巣
担当者	鹿住、松井、宮本
報告	毎月第3日曜日に定例活動、第1日曜日に鳩ノ巣協議会を実施した。定例活動については環境局受託の森林ボランティア講座の終了などに伴い、参加者が減少傾向となっている。

(3) 企業の森

[受託事業]

実施期間	2019年4月～2020年3月
実施場所	東京都青梅市
担当者	久保田、宮本
報告	下刈イベント指導が2回予定されたが、いずれも雨天中止となった。

(4) 木下沢渓谷冒険の森

[助成事業]

実施期間	2019年4月～2020年3月
実施場所	東京都八王子市裏高尾町
担当者	樋口、松井、宮本
報告	「木下沢渓谷冒険の森の会」と協力し、毎月第2日曜日に定例活動を実施した。運営の事務局長に宮本が就任した。初心者参加を促進するためのプチ体験イベント、親子体験イベント、定例活動を実施した。

<フィールド事業 2019年度活動成果>

事業名	活動実施日	活動スタイル	実施回数	2019年度延べ参加者数	2018年度延べ参加者数
初心者のための森づくり体験会	4/14、5/12、5/25 11/24、12/8、12/15、1/19、2/22	イベント	8	174	195
フォレスト21 「さがみの森」	4/13、4/28、5/11、5/26、6/8、 6/23、7/13、7/28、7/31、8/21、 8/25、9/14、9/22、10/16、10/27、 11/9、11/13、11/24、12/14、 12/22、1/11、1/26、2/8、2/23、 3/16、3/22	定例活動、 イベント	26	398	418
木下沢渓谷冒険の森	4/13、4/14、4/27、4/29、5/6 5/12、6/9、7/14、8/11、8/19、 8/20、8/23-8/24、9/8、11/10、 12/7、12/8、1/12、2/9、3/8	定例活動、 臨時活動、 イベント	19	269	249

多摩の森・大自然塾	4/21、5/19、6/16、7/21、8/4、 8/18、9/15、10/6、11/10、11/17、 12/15、1/19、2/16、3/15	定例活動、 学生向け 活動	14	320	392
企業の森	全て雨天中止	イベント	0	0	125

6. 広報事業

(1) 機関誌『森づくりフォーラムだより』及び『森づくりフォーラム特集号』の発行 [自主事業]

実施期間	2019年4月～2020年3月 発行回数6回(季刊)
実施場所	本会事務所
担当者	石井、中沢、宮本、村田
報告	『森づくりフォーラムだより』(簡易活動レポート)を4回(5月、7月、10月、2月)と、『森づくりフォーラム特集号』の2回(4月、10月)発行した。特集号は、WEBストアや講座で一般販売し、2019度は合計66冊の売上があった。

(2) メールマガジンの発行 [自主事業]

実施期間	2019年4月～2020年3月 発行回数24回(月2回)
実施場所	本会事務所
担当者	石井、中沢、宮本
報告	森づくりフォーラムの活動や森林に関わる情報発信を行った。講座やシンポジウム、森づくり体験会などの機会を通じて読者数を増やした。また、HP上で最新号を公開、Facebookで案内を発信し、メルマガ登録申し込みフォームへの導線を強化した。3月で購読者数2921となった。

(3) メールマガジン『東京の森づくり団体 活動お知らせ』の発行 [自主事業]

実施期間	2019年4月～2020年3月 発行回数12回(月1回)
実施場所	本会事務所
担当者	石井
報告	「初心者のための森づくり体験会」の参加者・申し込み者に向けて、体験会協力団体の定例活動やイベント情報の発信を月1回実施した。3月には掲載団体が10団体となった。

(4) 森づくりフォーラム WEB サイトの運用 [自主事業]

実施期間	2019年4月～2020年3月
実施場所	本会事務所
担当者	石井、宮本

報告	各イベントや講座の告知情報をはじめ、「団体紹介記事」、「内山節ライブラリー」、関係団体の関連情報の掲載等、森林・林業に関する情報発信を行った。月間ユーザー数は月平均 3000PV となった。
----	---

(5) SNS (Facebook、Instagram) の運用

[自主事業]

実施期間	2019年4月～2020年3月
実施場所	本会事務所
担当者	石井、中沢、樋口、宮本
報告	Facebookでは、シンポジウム・イベントなどの広報告知、WEBサイト記事へのリンクなどの情報発信を行った。Instagramでは、活動中の写真を活用した投稿を週3日ペースで実施し、活動PRや森林・林業の普及啓発等を行った。

【各情報発信ツールの推移】

ツール名	投稿、発行頻度	フォロワー数、アクセス数 (2018年度)	フォロワー、アクセス数 (2019年度)
メールマガジン	月2回	2,548 (内まぐまぐ：414)	2,921 (内まぐまぐ：409)
メールマガジン (東京森づくり)	月1回	72	168
FB(森フォ)	月に約4記事 投稿	2,786	3,089
FB(全国の集い)	イベント開催前に投稿	759	945
WEB	ほぼ毎週更新	26,004 (月 2,000)	38,000 (月 3,164)
Instagram	週3日更新	1,200	3,500
Twitter		40	84

【WEB フォーム入力ボタン設置による成果】

フォーム種別	2018年度実績	2019年度実績
メールマガジン登録フォーム	81	91
会員入会フォーム	9	13
グリーンボランティア保険登録フォーム	36	119
さがみの森参加申し込みフォーム	5	13

II. 総務に関する事項

1. 会議

- (1) 第20回通常総会 2019年6月2日
- (2) 第40回定期理事会 2019年6月1日
第41回定期理事会 2020年1月25日
- (3) 運営委員会 2019年4月19日、8月23日、12月13日、3月14日
- (4) 事務局会議 2019年4月11日、5月23日、6月24日、7月23日、
9月12日、10月21日、11月21日、2020年1月9日、
2月13日、3月19日
- (5) 広報委員会 事務局会議と併催

2. 会員の拡大

実施期間	2019年4月～2020年3月
実施場所	本会事務所・主催及び関連イベント
担当者	運営委員会及び事務局
受益対象者の範囲及び人数	会員数は以下推移表を参照。
報告	講座・シンポジウム等の開催時の周知、WEB サイト・メールマガジンなどを通じて個人会員新規入会の働きかけを行った。またグリーンボランティア保険利用団体への団体会員入会への働きかけなどを行ったところ、個人：22名、団体：7団体の新規入会があった。

会員数の推移（2019年度実績）

	2018年度 会員数	新規 会員数	退会 会員数	2019年度 会員数	2018年度 未納
個人正会員	111	14	4	121	0
個人賛助会員	67	15	5	77	3
個人会員計	178	29	9	198	3
団体正会員	74	7	8	73	0
団体賛助会員	3	0	0	3	0
団体会員計	77	7	8	76	0

※新規/退会会員数は、個人賛助会員から個人正会員へ2人移動、個人正会員から個人賛助会員へ3名移動、団体正会員から個人正会員へ1名・個人賛助会員へ1名移動の数を含む。

3. 寄付の促進

実施期間	2019年4月～2020年3月
実施場所	本会事務所
担当者	石井、宮本
報告	LVMH 社のコミュニティサステナビリティ企画イベントによるオークション売上げより寄付をいただいた。その他個人による WEB 決済での寄付が5件あった。また、法人設立20周年に合わせて、全国の15の森づくり

団体と協力し、寄付キャンペーンを実施し、78万円近く寄付を集めた。

4. 各種委員会への出席

- ・2019/6/18 森林・山村 多面的機能発揮対策交付金 企画委員会出席 松井理事
- ・2019/9/13 東京都緑の募金 運営協議会出席 松井理事
- ・2019/9/19 森づくり安全技術・技能全国推進協議会 理事会出席 松井理事
- ・2020/1/31 東京都花粉の少ない森づくり運動 推進委員会出席 久保田理事
- ・2020/2/13 東京都緑の募金 運営協議会出席 松井理事
- ・2020/2/21 セブンイレブン記念財団 助成制度専門審査会出席 原田理事

III. 事務局体制

常務理事・理事と事務局職員によって、月に1回程度事務局会議を行った。事務局の構成メンバーは以下のとおり。

<常務理事>	[非常勤]
鹿住 貴之	認定 NPO 法人 JUON (樹恩) NETWORK
<理 事>	[非常勤]
松井 一郎	森林インストラクター東京会
<事務局長>	
宮本 至	[常 勤]
<事務局職員>	
石井 春花	[常 勤]
樋口 満里	[非常勤]
<ボランティアスタッフ>	
村田 央	

IV. 運営委員会体制

首都圏在住の理事を中心として構成し、原則3ヵ月に1回程度、各事業の進捗状況の確認および必要な事項を協議した。構成メンバーは、上記の常務理事・理事、事務局常勤職員のほか以下のとおり。

<副代表理事>	
原田 敏之	愛知生態系ネットワーク協議会
<理 事>	
赤池 円	私の森.jp
<理 事>	
石山 恵子	遊学の道 Project
<理 事>	

久保田 繁男 西多摩自然フォーラム
<理事>
水谷 伸吉 一般社団法人 more trees
<事務局職員>
中沢 和彦